

令和元年度

事業報告及び財務諸表等

公益財団法人長岡市米百俵財団

# 令和元年度 事業報告書

## I 事業運営

令和元年度は、アクションプラン実行2年目として、人材育成に取り組む市内7団体と連携し「米百俵未来塾」を開校するなど、新たな人材育成事業に着手するとともに、高校短期留学支援制度の創設など、長岡の子どもたちに対する切れ目のない人材育成事業の充実を図った。

また、新たに米百俵デー市民の集いで高校留学奨学生や海外体験派遣中学生の報告を行ったほか、ホームページによる情報発信や、地元企業とのタイアップによるプロモーション等を実施し、戦略的に「米百俵の精神」の発信に努めた。

### 《アクションプラン 3つの戦略》

Action1 特色ある事業の展開	Action2 発信力の強化	Action3 経営基盤の強化
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 基幹事業である奨学金制度の充実</li> <li>▶ 「新しい米百俵」と呼べる人材育成の推進</li> <li>▶ ふるさとへの愛着や誇りの醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 財団の活動の発信</li> <li>▶ 関係団体との連携</li> <li>▶ 各種プロモーション活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市民・企業サポーターの募集</li> <li>▶ 寄附金等財団への支援の仕組みの構築</li> </ul>



### ➤ Action1 特色ある事業の展開

#### 1 大学等奨学金貸与事業

(1) 大学生等に対して奨学金の貸付けを行った。

〔貸付人数（採用年度別）〕

平成 27 年度生 1 人	平成 28 年度生 46 人	平成 29 年度生 42 人
平成 30 年度生 30 人	令和元年度生 19 人	合計 138 人

(2) ホームページを活用し、採用条件や申込みに必要な情報等を発信するとともに、各種イベント等における周知活動を行った。

#### 2 高校留学奨学金給付事業

(1) 長期（年間）留学に対する奨学金について、給付対象者に高校3年生を追加したが、応募はなかった。【拡充】

(2) 新たに短期留学に対する奨学金給付制度を設け、令和2年1月から募集を開始した。【新規】

(3) 留学に対する機運醸成を図るため、第24回米百俵デー市民の集い（令和元年6月15日開催）で、高校留学奨学生（コスタリカに留学）が留学体験報告を行った。【新規】

### 3 中小企業従業員・農業者派遣研修助成事業

中小企業従業員派遣研修費助成金の交付 合計 21 人

(研修先) 中小企業大学校三条校 9 人、長岡産業活性化協会 NAZE 2 人、長岡商工会議所 5 人、長岡大学地域連携研究センター 3 人、にいがた産業創造機構 2 人

### 4 中学生の海外体験に対する支援

(1) 長岡市国際交流協会と連携し、長岡市姉妹都市（フォートワース、ホノルル）への中学生海外派遣を行い、子どもたちが異文化に触れる機会の充実を図り、グローバルな視点の芽生えを支援するとともに、「米百俵のまち長岡」にふさわしい人材を育成した。

(「米百俵の精神」を事前研修プログラムに取り入れた。)

(実施状況)

- ・ 海外体験フォートワース訪問

中学 2 年生 30 人 (訪問期間：令和元年 10 月 19 日から 28 日まで 10 日間)

- ・ 海外体験ホノルル訪問

中学 1 年生 30 人 (訪問期間：令和 2 年 1 月 11 日から 18 日まで 8 日間)

(2) 第 24 回米百俵デー市民の集い（令和元年 6 月 15 日開催）で、フォートワース、ホノルルへの派遣中学生による海外体験報告を行った。【新規】

### 5 AI プログラミング教育に対する支援（開府400年寄附金充当事業）

ながおか・若者・しごと機構と連携し、子どもたちがプログラミングに興味・関心を持つきっかけとなる場としてプログラミング体験教室を開催し、日本のイノベーションを支える人材、次代の長岡を支える人材を育成した。

(対象者) 小学生、中学生

(会 場) NaDeC BASE

(開催日) 5 月から 2 月まで [全17回開催] (3 月は新型コロナウイルス感染防止のため中止)

(参加者) 延べ188人

### 6 米百俵未来塾（開府400年寄附金充当事業）【新規】

次代を担う長岡の子どもたちが、郷土の誇りを胸に自らの学びにより未来を切り拓き、生き抜く力を育てる新たな学びの場として、人材育成に取り組む市内の 7 つの団体と連携し、米百俵の精神をはじめ芸術、スポーツなど全 9 回にわたる多面的な講座を開催した。また、活動報告をまとめた冊子を配布した。

(対象者) 小学 4 年生～中学 3 年生

(参加者) 小学生32人、中学生14人、計46人

(講 座) 7 月 20 日～12 月 14 日 全 9 回開催 (開校式 7 月 20 日、修了式 12 月 14 日)

(共同主催団体) 長岡市芸術文化振興財団、長岡市国際交流協会、長岡市スポーツ協会、山の暮らし再生機構、長岡花火財団、ながおか・若者・しごと機構、まちなかキャンパス長岡

## 7 体験・交流型プログラムの実施

ふるさと長岡への誇りと愛着を醸成し、地方創生に繋がる若者定着に向けて、令和元年12月28日にアオーレ長岡で開催された、ながおか・若者・しごと機構主催の「ちょい話交流会」及び同日同会場で実施された、長岡市産業支援課主催の「インターンシップガイダンス」で連携協力し、奨学生と地元企業の若手社員との交流の場の提供につなげた。

## 8 長岡の魅力情報発信【新規】

新たにメール配信システムを構築し、奨学生に対して「ちょい話交流会」や「インターンシップガイダンス」といった長岡の就職情報やイベント情報などの発信を行った。

### ➤ Action2 発信力の強化

#### 1 「米百俵デー市民の集い」の実施

米百俵賞贈呈式、記念講演会に加え、新たに中学生・高校生による海外体験・留学報告会を実施し、学生が「夢」に向かって頑張っている姿とともに、人材育成事業の取り組みを発信した。

(開催日) 令和元年6月15日(土)

(会場) 長岡リリックホール コンサートホール

(内容) テーマ:「夢」～夢は必ずかなう。今、伝えたいメッセージ～

第1部 米百俵賞贈呈式

第2部 中学生・高校生による海外体験・留学報告会

第3部 記念講演会 舞の海秀平氏(NHK相撲解説者、元小結 舞の海)

(入場者) 約600人

#### 2 米百俵賞の贈呈

令和元年6月15日の米百俵デー市民の集いで第23回米百俵賞の贈呈式を行った。また、米百俵賞の一旦休止を周知した。

第23回米百俵賞受賞者 モハメッドヌルルエラヒ氏・美砂子氏(見附市)

第23回米百俵賞特別賞 荒川勝巳氏(ケニア共和国)

#### 3 「米百俵」書籍の頒布等による啓発事業

米百俵の精神の普及啓発のため、各種書籍等の頒布等を行った。

	書籍等	令和元年度状況
1	「米百俵 小林虎三郎の思想」の頒布	有料頒布 39冊、献本 15冊
2	ドナルド・キーン氏英訳 「One Hundred Sacks of Rice」の頒布	有料頒布 5冊、献本 54冊
3	米百俵読本「米百俵 小林虎三郎物語」を市内の小学6年生等に配布および一般への頒布	市内小学生配布 2,694冊 有料頒布 41冊、献本 62冊
4	「米百俵—その先の未来へ—」の頒布	有料頒布 25冊、献本 1冊
5	アニメDVD「長岡の侍～米百俵～」の頒布	有料頒布 11冊、献本 1冊
6	「米百俵まつり」等における啓発活動	ブース出展、パネル展示

#### 4 地元企業とタイアップしたプロモーション展開

これまでの米百俵財団支援自動販売機によるタイアップに加え、財団の理念に賛同する地元企業との新たなタイアップにより、米百俵のブランド力をさらに高め、発信力を強化した。

- (1) (株)瑞花 落雁「米百俵」、あげもち「米百俵」でのタイアップ
- (2) (株)新潟味のれん本舗 詰め合わせ米菓「百俵味つづり」でのタイアップ
- (3) (株)原信 お弁当「米百俵の想い御膳」でのタイアップ

#### 5 ホームページ等による魅力発信事業

平成 30 年度に開設したホームページを活用し、人材育成に取り組む団体との情報共有・連携により、発信力を強化するとともに、各種媒体を通じて事業拡充による新たな取組みの成果などを発信した。

##### ➤ Action3 経営基盤の強化

#### 1 市民・企業サポーターの募集

- (1) ホームページを活用し、米百俵未来塾など、米百俵財団ならではの人材育成事業に関する情報発信を行い、市内外へ幅広い寄附金募集活動を展開した。
- (2) 企業サポーター制度を創設し、財団の理念・活動に賛同する地元企業等が支援しやすい仕組みを構築した。【新規】

## II 財団運営

### 1 理事会の開催状況

第1回理事会（平成31年4月1日） ※決議の省略の方法による

代表理事（理事長）の選定について

副理事長の選定について

名誉顧問の推薦について

第2回理事会（令和元年6月12日）

第1号議案 平成30年度事業報告及び財務諸表等について

第2号議案 令和元年度定時評議員会の招集並びに後任理事及び評議員候補者の推薦について

報告事項 理事長の職務執行状況について

令和元年度奨学生の選考結果について

第3回理事会（令和元年9月6日）

第1号議案 高校留学奨学金給付事業の拡充について

第2号議案 企業サポーター制度の創設について

第3号議案 後任監事候補者の推薦及び令和元年度第1回臨時評議員会の提案について

報告事項 米百俵賞休止の周知及び米百俵賞表彰団体活動アーカイブ化事業について

米百俵未来塾の中間報告について

第4回理事会（令和2年3月19日）

第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 評議員会の招集について

報告事項 理事長の職務執行状況について

米百俵未来塾の活動報告について

### 2 評議員会の開催状況

定時評議員会（令和元年6月28日）

第1号議案 平成30年度事業報告及び財務諸表等について

第2号議案 理事及び評議員の補欠選任について

報告事項 令和元年度奨学生の選考結果について

第1回臨時評議員会（令和元年9月6日） ※決議の省略の方法による

監事の補欠選任について

（第2回臨時評議員会（令和2年3月27日）は、招集したが新型コロナウイルス感染防止のため中止）

3 役員一覧（令和2年3月31日現在）

理事長：高橋 讓（1名、常勤）

副理事長：金澤 俊道（1名、非常勤）

理事：大原 興人、ジョーンズ文穂、高野 真規、水流潤太郎、原 和彦、丸山 広司、  
宮田 佳則、村山 光博、渡邊 泰崇（9名、非常勤）

評議員：荒木 正、小川 桂子、小川 浩司、海津 博之、古出 哲彦、小西 統雄、  
中村 美和、羽賀 友信、丸山 智、八木 浩幸（10名、非常勤）

監事：長津 和彦、二宮 康彰（2名、非常勤）

## 事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。



# 貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,072,672	619,010	453,662
未収金	1,256	308	948
棚卸資産	3,899,832	4,301,860	△ 402,028
立替金	0	540	△ 540
流動資産合計	4,973,760	4,921,718	52,042
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	718,854,430	718,839,430	15,000
定期預金	18,639,000	18,639,000	0
普通預金	1,109,984	1,124,984	△ 15,000
基本財産合計	738,603,414	738,603,414	0
(2) 特定資産			
奨学事業積立資産	425,364,052	451,190,817	△ 25,826,765
奨学金貸付金	724,622,499	722,633,499	1,989,000
特定資産合計	1,149,986,551	1,173,824,316	△ 23,837,765
固定資産合計	1,888,589,965	1,912,427,730	△ 23,837,765
資産合計	1,893,563,725	1,917,349,448	△ 23,785,723
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	736,765	276,917	459,848
流動負債合計	736,765	276,917	459,848
負債合計	736,765	276,917	459,848
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
出捐金	612,105,000	612,105,000	0
寄付金	1,280,581,890	1,304,708,836	△ 24,126,946
指定正味財産合計	1,892,686,890	1,916,813,836	△ 24,126,946
(うち基本財産への充当額)	( 738,603,414)	( 738,603,414)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 1,149,986,551)	( 1,173,824,316)	(△ 23,837,765)
2. 一般正味財産	140,070	258,695	△ 118,625
正味財産合計	1,892,826,960	1,917,072,531	△ 24,245,571
負債及び正味財産合計	1,893,563,725	1,917,349,448	△ 23,785,723

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 4,781,911]	[ 4,896,828]	[△ 114,917]
基本財産受取利息	4,781,911	4,896,828	△ 114,917
特定資産運用益	[ 343,518]	[ 629,014]	[△ 285,496]
特定資産受取利息	343,518	629,014	△ 285,496
事業収益	[ 81,229]	[ 167,858]	[△ 86,629]
書籍頒布収益	81,229	167,858	△ 86,629
受取寄付金	[ 25,552,063]	[ 13,071,081]	[ 12,480,982]
受取寄付金	25,552,063	13,071,081	12,480,982
雑収益	[ 12,899]	[ 37,305]	[△ 24,406]
受取利息	3	5	△ 2
雑収益	12,896	37,300	△ 24,404
経常収益計	30,771,620	18,802,086	11,969,534
(2) 経常費用			
事業費	[ 30,047,812]	[ 17,739,107]	[ 12,308,705]
役員報酬	4,410,000	0	4,410,000
給料手当	1,337,040	1,337,040	0
福利厚生費	861,631	223,374	638,257
会議費	11,181	21,059	△ 9,878
旅費交通費	5,458,535	4,735,817	722,718
通信運搬費	446,814	491,903	△ 45,089
消耗品費	739,935	660,833	79,102
印刷製本費	2,381,850	807,732	1,574,118
広告宣伝費	2,500,000	0	2,500,000
使用料	0	50,000	△ 50,000
光熱水料費	55,029	0	55,029
賃借料	1,698,037	867,651	830,386
保険料	33,008	0	33,008
諸謝金	3,812,020	2,364,800	1,447,220
租税公課	1,000	2,800	△ 1,800
奨学金貸付金減免費	0	144,000	△ 144,000
支払助成金	1,023,600	1,287,800	△ 264,200
支払負担金	20,000	1,292,562	△ 1,272,562
委託費	4,876,638	2,983,835	1,892,803
手数料	332,054	444,443	△ 112,389
交際費	49,440	23,458	25,982
管理費	[ 842,433]	[ 804,284]	[ 38,149]
役員報酬	490,000	0	490,000
給料手当	148,560	148,560	0
福利厚生費	95,736	24,819	70,917

科 目	当年度	前年度	増 減
会議費	1,200	0	1,200
旅費交通費	56,000	90,000	△ 34,000
消耗品費	7,668	0	7,668
賃借料	15,975	8,391	7,584
支払負担金	0	500,000	△ 500,000
租税公課	2,400	600	1,800
手数料	11,894	19,914	△ 8,020
交際費	13,000	12,000	1,000
経常費用計	30,890,245	18,543,391	12,346,854
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 118,625	258,695	△ 377,320
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 118,625	258,695	△ 377,320
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 118,625	258,695	△ 377,320
一般正味財産期首残高	258,695	0	258,695
一般正味財産期末残高	140,070	258,695	△ 118,625
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[ 1,215,367]	[ 50,821,619]	[△ 49,606,252]
受取寄付金	1,215,367	50,821,619	△ 49,606,252
一般正味財産への振替額	[△ 25,342,313]	[△ 13,071,081]	[△ 12,271,232]
一般正味財産への振替額	(△ 25,342,313)	(△ 13,071,081)	(△ 12,271,232)
受取寄付金	△ 25,342,313	△ 13,071,081	△ 12,271,232
当期指定正味財産増減額	△ 24,126,946	37,750,538	△ 61,877,484
指定正味財産期首残高	1,916,813,836	1,879,063,298	37,750,538
指定正味財産期末残高	1,892,686,890	1,916,813,836	△ 24,126,946
III 正味財産期末残高	1,892,826,960	1,917,072,531	△ 24,245,571

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[ 4,267,856]	[ 514,055]	[ 0]	[ 4,781,911]
基本財産受取利息	4,267,856	514,055	0	4,781,911
特定資産運用益	[ 343,518]	[ 0]	[ 0]	[ 343,518]
特定資産受取利息	343,518	0	0	343,518
事業収益	[ 81,229]	[ 0]	[ 0]	[ 81,229]
書籍頒布収益	81,229	0	0	81,229
受取寄付金	[ 25,342,313]	[ 209,750]	[ 0]	[ 25,552,063]
受取寄付金	25,342,313	209,750	0	25,552,063
雑収益	[ 12,896]	[ 3]	[ 0]	[ 12,899]
受取利息	0	3	0	3
雑収益	12,896	0	0	12,896
経常収益計	30,047,812	723,808	0	30,771,620
(2) 経常費用				
事業費	[ 30,047,812]	[ 0]	[ 0]	[ 30,047,812]
役員報酬	4,410,000	0	0	4,410,000
給料手当	1,337,040	0	0	1,337,040
福利厚生費	861,631	0	0	861,631
会議費	11,181	0	0	11,181
旅費交通費	5,458,535	0	0	5,458,535
通信運搬費	446,814	0	0	446,814
消耗品費	739,935	0	0	739,935
印刷製本費	2,381,850	0	0	2,381,850
広告宣伝費	2,500,000	0	0	2,500,000
光熱水料費	55,029	0	0	55,029
賃借料	1,698,037	0	0	1,698,037
保険料	33,008	0	0	33,008
謝礼金	3,812,020	0	0	3,812,020
租税公課	1,000	0	0	1,000
支払助成金	1,023,600	0	0	1,023,600
支払負担金	20,000	0	0	20,000
委託費	4,876,638	0	0	4,876,638
手数料	332,054	0	0	332,054
交際費	49,440	0	0	49,440
管理費	[ 0]	[ 842,433]	[ 0]	[ 842,433]
役員報酬	0	490,000	0	490,000
給料手当	0	148,560	0	148,560
福利厚生費	0	95,736	0	95,736
会議費	0	1,200	0	1,200
旅費交通費	0	56,000	0	56,000
消耗品費	0	7,668	0	7,668
賃借料	0	15,975	0	15,975
租税公課	0	2,400	0	2,400
手数料	0	11,894	0	11,894
交際費	0	13,000	0	13,000
経常費用計	30,047,812	842,433	0	30,890,245
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 118,625	0	△ 118,625
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	△ 118,625	0	△ 118,625
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	△ 118,625	0	△ 118,625
当期一般正味財産増減額	0	△ 118,625	0	△ 118,625
一般正味財産期首残高	0	258,695	0	258,695
一般正味財産期末残高	0	140,070	0	140,070
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取寄付金	[ 1,215,367]	[ 0]	[ 0]	[ 1,215,367]
受取寄付金	1,215,367	0	0	1,215,367
一般正味財産への振替額	[ △ 25,342,313]	[ 0]	[ 0]	[ △ 25,342,313]

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産への振替額	( △ 25,342,313)	( 0)	( 0)	( △ 25,342,313)
受取寄付金	△ 25,342,313	0	0	△ 25,342,313
当期指定正味財産増減額	△ 24,126,946	0	0	△ 24,126,946
指定正味財産期首残高	1,837,380,395	79,433,441	0	1,916,813,836
指定正味財産期末残高	1,813,253,449	79,433,441	0	1,892,686,890
Ⅲ 正味財産期末残高	1,813,253,449	79,573,511	0	1,892,826,960

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。ただし、取得価額と債権金額との差額に重要性が乏しい場合は償却原価法を適用しない。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

#### (3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、4,757,700円である。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	718,839,430	15,000	0	718,854,430
定期預金	18,639,000	0	0	18,639,000
普通預金	1,124,984	0	15,000	1,109,984
小 計	738,603,414	15,000	15,000	738,603,414
特定資産				
奨学事業積立資産	451,190,817	90,727,741	116,554,506	425,364,052
奨学金貸付金	722,633,499	86,890,000	84,901,000	724,622,499
小 計	1,173,824,316	177,617,741	201,455,506	1,149,986,551
合 計	1,912,427,730	177,632,741	201,470,506	1,888,589,965

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券	718,854,430	(718,854,430)	(0)	—
定期預金	18,639,000	(18,639,000)	(0)	—
普通預金	1,109,984	(1,109,984)	(0)	—
小 計	738,603,414	(738,603,414)	(0)	—
特定資産				
奨学事業積立資産	425,364,052	(425,364,052)	(0)	—
奨学金貸付金	724,622,499	(724,622,499)	(0)	—
小 計	1,149,986,551	(1,149,986,551)	(0)	—
合 計	1,888,589,965	(1,888,589,965)	(0)	—

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券			
徳島県非公募債 7 5 1 回 10年(額面 2 千万円)	20,017,400	20,230,020	212,620
新潟県公募公債 2 3 年度 1 回 10年(額面 5 千万円)	49,995,000	50,820,000	825,000
政府保証地方金融機構債 3 7 回 10年(額面 8 千万円)	80,368,000	81,608,000	1,240,000
新潟県公募公債 2 4 年度 1 回 10年(額面 1 千万円)	9,994,000	10,202,000	208,000
利付国庫債券 6 2 回 20年(額面 3 千万円)	29,789,100	30,900,000	1,110,900
利付国庫債券 3 2 8 回 10年(額面 5 千万円)	50,050,000	51,100,000	1,050,000
利付国庫債券 3 2 8 回 10年(額面 1 億円)	99,438,000	102,204,800	2,766,800
福岡市公募公債 2 7 年度 6 回 20年(額面 3 千万円)	30,000,000	33,320,190	3,320,190
利付国庫債券 1 5 2 回 20年(額面 5 千万円)	50,240,000	56,852,950	6,612,950
大阪府公募公債 3 9 8 回 10年(額面 3 千万円)	30,099,600	30,828,000	728,400
新潟県公募公債 2 7 年度 1 回 10年(額面 2 千万円)	20,000,000	20,490,000	490,000
福井県公募公債 2 8 年度 1 回 20年(額面 1 億円)	100,000,000	96,990,000	△ 3,010,000
利付国庫債券 1 5 7 回 20年(額面 4 千万円)	40,386,000	39,472,000	△ 914,000
利付国庫債券 1 6 4 回 20年(額面 9 千 9 百万円)	98,464,330	102,288,285	3,823,955
利付国庫債券 1 7 0 回 20年(額面 1 千万円)	10,013,000	9,981,000	△ 32,000
特定資産 投資有価証券			
北海道電力社債 3 0 8 回 10年(額面 1 億円)	100,557,143	100,507,900	△ 49,243
関西電力社債 5 3 2 回 5年(額面 1 億円)	100,214,067	99,278,200	△ 935,867
北海道電力社債 3 4 6 回 5年(額面 1 億円)	100,892,381	99,651,600	△ 1,240,781
合 計	1,020,518,021	1,036,724,945	16,206,924

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金(奨学事業等寄付金充当額)	20,330,755
受取寄付金(開府 4 0 0 年寄付金充当額)	5,011,558
合 計	25,342,313

## 計算書類の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記の2. において記載している。
2. 引当金の明細  
該当事項なし。



# 財産目録

令和2年 3月31日現在

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	北越銀行 長岡市役所支店他	運転資金として ゆうちょ銀行 普通貯金 No.00600-0-17390 1,210 北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2011487 956,508 第四銀行 長岡営業部 普通預金 No.1841800 112,954 北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.120648 2,000 <u>1,072,672</u>	( 1,072,672 )
未収金	郷土史料館他	読本4冊	( 1,256 )
棚卸資産	米百俵読本 4,031冊 英語版 392冊 日本語版「米百俵」 729冊 米百俵～その先の未来～ 1,921冊	頒布用出版物として	( 3,899,832 ) 426,641 249,487 409,453 2,814,251
流動資産合計			4,973,760
(固定資産)			
基本財産			【 738,603,414 】
投資有価証券	利付国庫債券他	(共用資産) うち89.25%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に基づき人材育成事業の財源としている。 うち10.75%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている。 (内訳) 徳島県非公募債751(額面2千万円) 20,017,400 新潟県公募公債23/1(額面5千万円) 49,995,000 政府保証地方金融機構債37(額面8千万円) 80,368,000 新潟県公募公債24/1(額面1千万円) 9,994,000 利付国庫債券62回(額面3千万円) 29,789,100 利付国庫債券328回(額面5千万円) 50,050,000 利付国庫債券328回(額面1億円) 99,438,000 利付国庫債券152回(額面5千万円) 50,240,000 大阪府公募公債398(額面3千万円) 30,099,600 新潟県公募公債27/1(額面2千万円) 20,000,000 福岡市公募公債27/6(額面3千万円) 30,000,000 福井県公募公債28/1(額面1億円) 100,000,000 利付国庫債券157回(額面4千万円) 40,386,000 利付国庫債券164回(額面9千9百万円) 98,464,330 利付国債債券170回(額面1千万円) 10,013,000 小計 <u>718,854,430</u>	( 718,854,430 ) 641,544,903 77,309,527
定期預金	大光銀行本店他	(共用資産) うち89.25%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に基づき人材育成事業の財源としている。 うち10.75%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている。 (内訳) 大光銀行 本店営業部 定期預金 No.3575154 10,000,000 ゆうちょ銀行 定額郵便貯金 No.51250-468871-01 8,639,000 小計 <u>18,639,000</u>	( 18,639,000 ) 16,634,460 2,004,540

特定資産	普通預金	北越銀行 長岡市役所支店	(共用資産) うち89.25%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち10.75%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源と している。 (内訳) 北越銀行長岡市役所支店 普通預金 No.120648 1,109,984	( 1,109,984 ) 990,610 119,374
	奨学事業積立資産	北越銀行 長岡市役所支店他	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、米百 俵の精神に基づく人材育成事業の財源として使用している。 (内訳) 北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.42660 49,339,896 第四銀行 長岡営業部 普通預金 No.1543738 175,779 北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2035550 49,184,786 北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.181494 10,000,000 北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.6003644 15,000,000 北海道電力社債308回(額面1億円) 100,557,143 関西電力社債532回(額面1億円) 100,214,067 北海道電力社債346回(額面1億円) 100,892,381 小計 425,364,052	【 1,149,986,551 】 ( 425,364,052 )
	奨学金貸付金	奨学生534名	奨学金の無償貸与	( 724,622,499 )
固定資産合計				1,888,589,965
資産合計				1,893,563,725
(流動負債)	未払金	NTT他	3月分電話料他未払分	( 736,765 )
流動負債合計				736,765
負債合計				736,765
正味財産				1,892,826,960

# 監査報告書

令和2年6月2日

公益財団法人長岡市米百俵財団  
理事長 高橋 譲 様

公益財団法人長岡市米百俵財団  
監事 長津 和彦



公益財団法人長岡市米百俵財団  
監事 二宮 康彰



私たち監事は、当法人の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事はそれぞれ、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法とあわせて、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告及びその附属明細書について

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。